

木造都市研究会

木愛の会

2周年記念シンポジウム

2008年12月20日（土）午後3時30分～



2007年2月 第一回セミナー —中村外二工務店の仕事を見る—



2007年2月 第一回セミナー —中村外二工務店の仕事を見る—





2007年2月 第一回セミナー —中村外二工務店の仕事を見る—



2007年2月 第一回セミナー —中村外二工務店の仕事を見る—





2007年4月 第二回セミナー —北陸の建築・町並み・緑を見る—



2007年4月 第二回セミナー —北陸の建築・町並み・緑を見る—



2007年4月 第二回セミナー —北陸の建築・町並み・緑を見る—





2007年4月 第二回セミナー —北陸の建築・町並み・緑を見る—





2007年7月 第三回セミナー -ハイブリットから中山道へ-





2007年7月 第三回セミナー -ハイブリットから中山道へ-





2007年7月 第三回セミナー ーハイブリットから中山道へー



2007年9月 セミナー 一丸美産業新社屋建て方見学会一



2007年11月 第四回セミナー —高松作品を訪ねる旅in台湾—





2007年11月 第四回セミナー —高松作品を訪ねる旅in台湾—



2007年11月 第四回セミナー —高松作品を訪ねる旅in台湾—





2007年11月 第四回セミナー —高松作品を訪ねる旅in台湾—





2007年11月 第四回セミナー —高松作品を訪ねる旅in台湾—



2007年11月 第四回セミナー —高松作品を訪ねる旅in台湾—





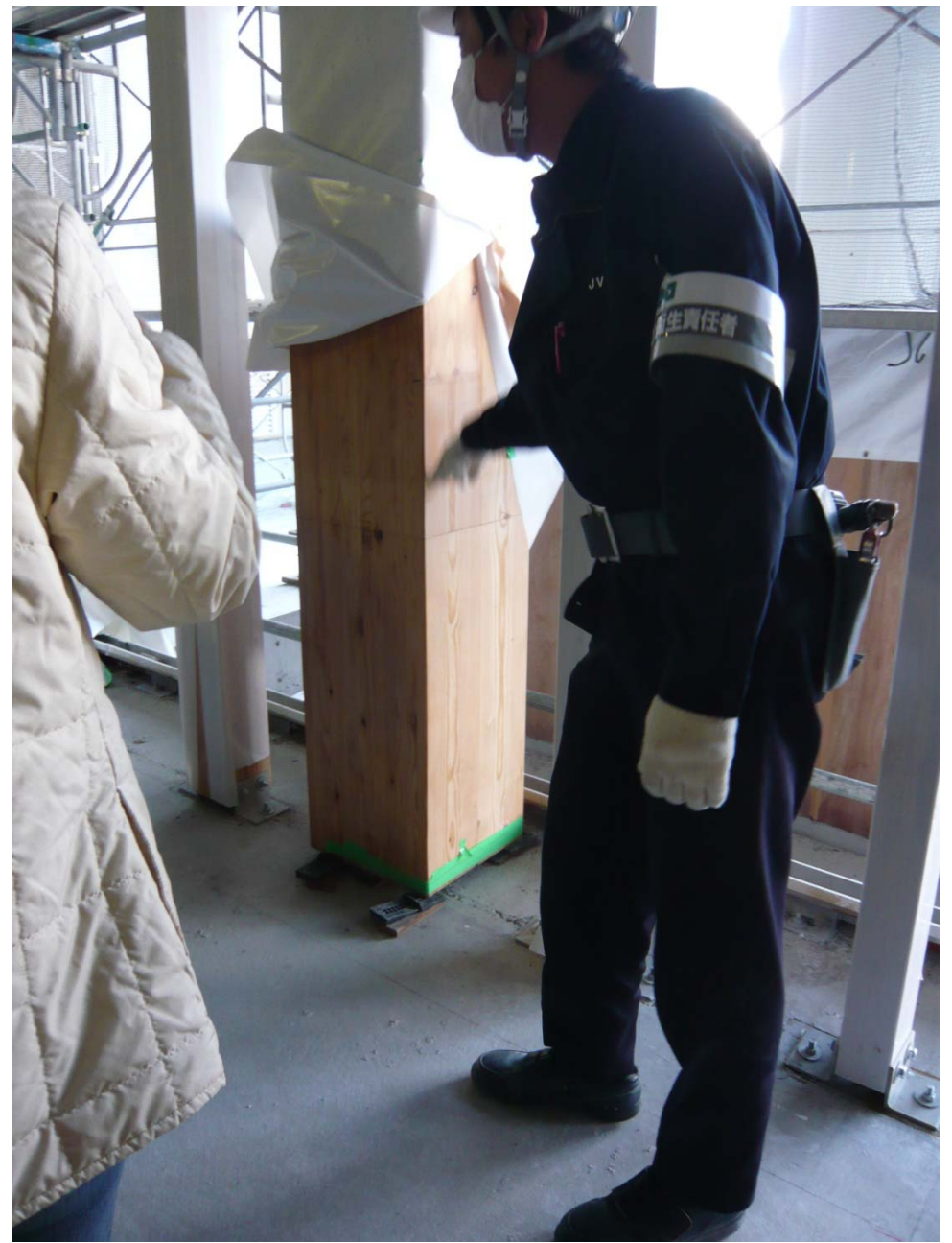
2007年11月 第四回セミナー —高松作品を訪ねる旅in台湾—





2007年11月 第四回セミナー —高松作品を訪ねる旅in台湾—





2008年2月 セミナー 一丸美産業新社屋現場見学会一



2008年4月 第五回セミナー ー奈良県上笠神住宅・阪口製材所見学会ー



木造都市研究会  
**木愛の会**  
第一回 設計競技  
課題  
**「あたらしい木の建築」**  
一軒了する木造都市へ

かつてある建物は全て「木造建築」だった。その時、数百年によって新しい建築が生まれ、コンクリート、鉄骨、ガラスによる建築がその都市にはあふれていた。

その一方で、決して消えぬ「木造建築」を復活させることが出来るかも知れない。

都市に再び木がもたらすコンクリートの堅固さからつづき、都市にあって、その気候を呼吸することの「木」には、無窮の可能性があり、都市の未来にわたる木造建築と建築家、新しい市民都市へと導く、新しい木の建築を求めたい。



1. 目的と趣意

木造建築は、かつてある都市の中心であり、市民生活の中心であった。木造建築は、都市の歴史と文化を伝える重要な役割を果たしている。本研究会は、木造建築の魅力を再認識し、木造建築の魅力を伝えるための活動を行う。本研究会は、木造建築の魅力を伝えるための活動を行う。本研究会は、木造建築の魅力を伝えるための活動を行う。

2. 活動内容

本研究会は、木造建築の魅力を伝えるための活動を行う。本研究会は、木造建築の魅力を伝えるための活動を行う。本研究会は、木造建築の魅力を伝えるための活動を行う。

3. 活動方法

本研究会は、木造建築の魅力を伝えるための活動を行う。本研究会は、木造建築の魅力を伝えるための活動を行う。本研究会は、木造建築の魅力を伝えるための活動を行う。

4. 活動期間

本研究会は、木造建築の魅力を伝えるための活動を行う。本研究会は、木造建築の魅力を伝えるための活動を行う。本研究会は、木造建築の魅力を伝えるための活動を行う。

5. 活動場所

本研究会は、木造建築の魅力を伝えるための活動を行う。本研究会は、木造建築の魅力を伝えるための活動を行う。本研究会は、木造建築の魅力を伝えるための活動を行う。

6. 活動予算

項目	金額	備考
活動費	100,000円	
雑費	50,000円	
合計	150,000円	

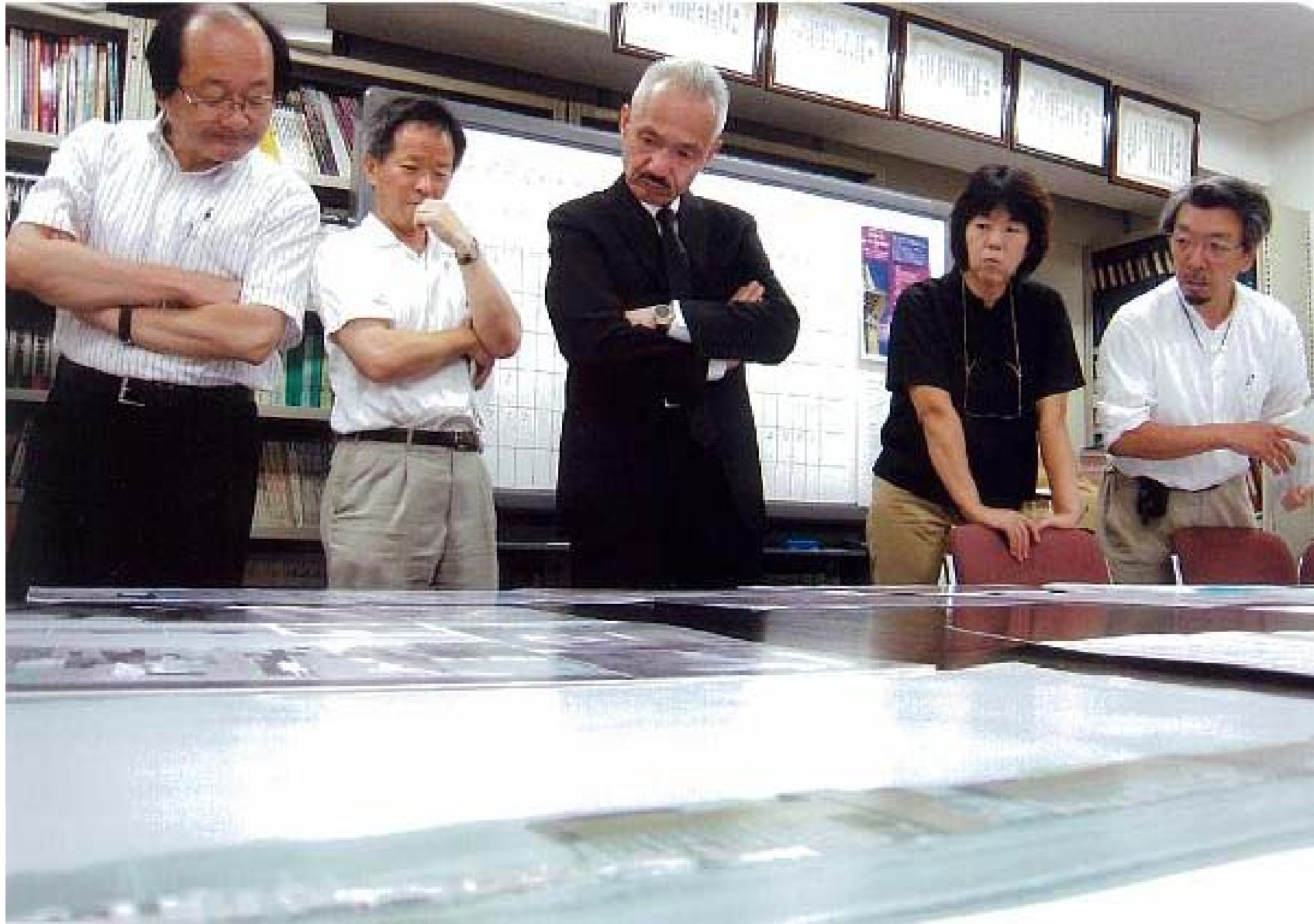
7. 活動成果

本研究会は、木造建築の魅力を伝えるための活動を行う。本研究会は、木造建築の魅力を伝えるための活動を行う。本研究会は、木造建築の魅力を伝えるための活動を行う。

8. その他

本研究会は、木造建築の魅力を伝えるための活動を行う。本研究会は、木造建築の魅力を伝えるための活動を行う。本研究会は、木造建築の魅力を伝えるための活動を行う。

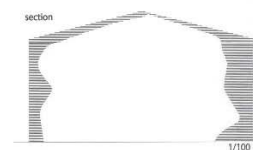
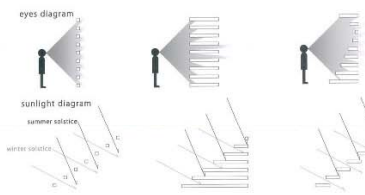
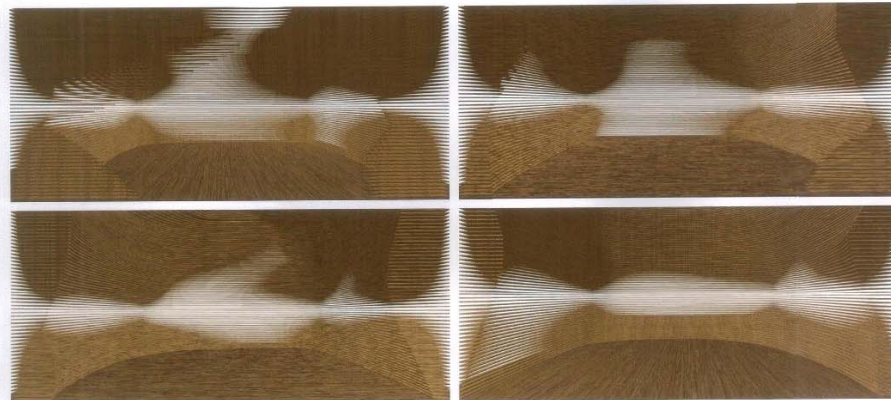
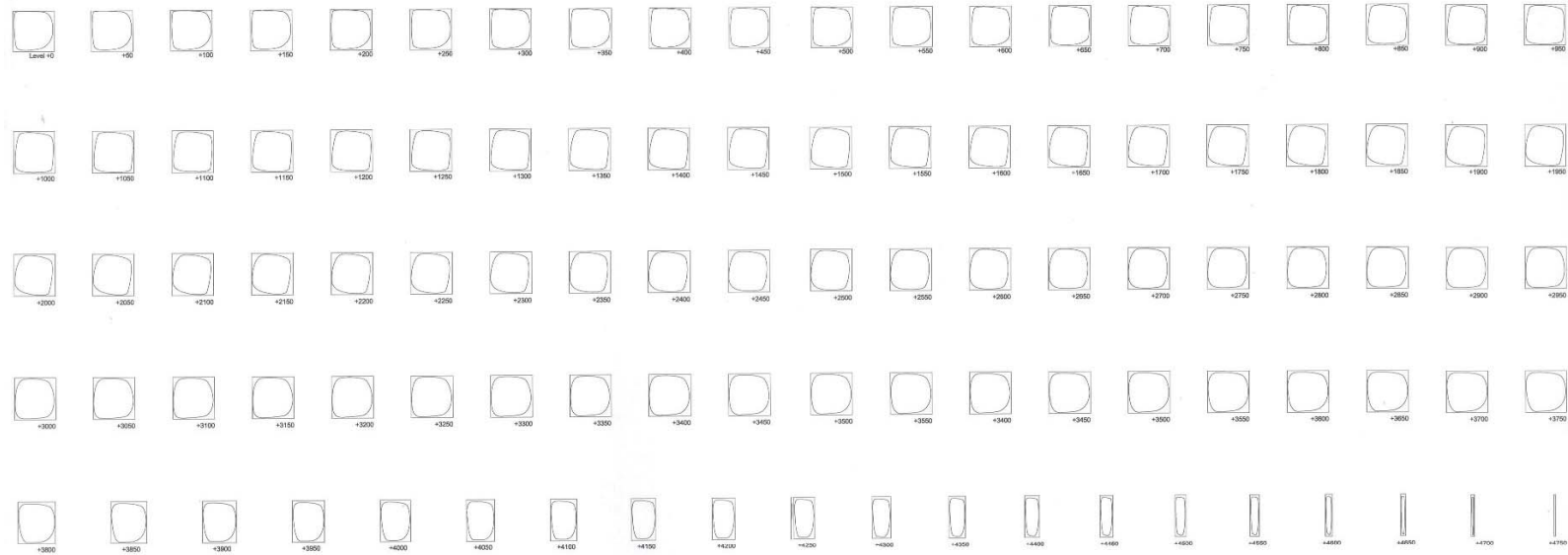
2008年3月 学生コンペにむけて



2008年7月 学生コンペ ー審査風景ー

最優秀賞作品

millefeuille



格子は古くから日本の木造民家などで用いられてきた。その役割は外部からの人の視線を遮りながらも、十分な採光を確保するものであった。フラインドもまた、外部からの人の視線や日照を調整するために用いられるものである。

それらの機能を満たす、異なる種の木の積層により生まれる空間を提案する。日差しが強いところ弱いところ。温かいところ涼しいところ。視線の抜けるところ遮らないところ。その層の気分や気候を数感に感じとり、動物的本能ともいえるような感覚を頼りに自分の居場所を調整していく。

それは木の温かみや匂い、ざらざらすべすべといった手触りとともに、季節や時の移り変わりに対応するように刻一刻と表情を変えていく光の器。





2008年10月 なごやデザインウィーク (NDW) セミナー



## 木造都市研究会 木愛の会 2周年記念シンポジウム

12月20日(土) 16:00 (15:50 受付開始)  
会場 丸美産業株式会社 本社ビル5階  
(地下鉄桜通線瑞穂区役所下車2番出口すぐ)  
15:30から木愛の会総会を行っています。ご関心のある方はこちらにもあわせてご参加ください。

### 今、新しい木の建築を発想する

深い山の木立、木の家、陽だまりの縁側、かつて、日本人のだれもが心に刻んだ木の記憶。その記憶を胸に秘めて、今、木の建築の新たな時代が開かれようとしている。ガラスや鉄を超える建築材料としての可能性、伝統的な技法や経験の上につくられる今までにない建築空間、既成概念にとらわれない新しい木の建築と木造都市を新進気鋭の建築家と高松伸木愛の会会長が語りあいます。

#### プログラム

##### ●木愛の会2周年記念シンポジウム

第1部 「今、新しい木の建築を発想する」 16:00～18:00

既成概念にとらわれることなく木を使う建築家として注目を集める河井さんと平沼さんから、それぞれ話題提供の後、高松会長を交えてトークセッション。木の大きな可能性が見えてきます。

第2部 懇親会 18:15～20:00

セッションの後は、パネリストの方々と木造都市と木愛の会について、語り合しましょう。

参加費 第1部 会員・学生 無料 / 一般 1000円  
第2部 すべて2000円

お問合せ/申し込み 代表世話人 田中英彦 (052-913-8168) 木愛の会事務局 (東海林建築設計事務所内)  
TEL0568-51-6616 / FAX0568-51-6629 E-MAIL info@tokairin.jp  
下記申込書のFAXかメールでお願い致します。

#### 申込書

参加のシンポジウムに○をつけて下さい。 第1部 \_\_\_\_\_ 第2部 \_\_\_\_\_

貴社名: \_\_\_\_\_ ご芳名: \_\_\_\_\_

ご連絡先 〒 \_\_\_\_\_

TEL: \_\_\_\_\_ FAX: \_\_\_\_\_

EMAIL: \_\_\_\_\_



河井敏明 /Toshiaki Kawai  
1級建築士事務所 河井事務所 主宰  
1967年 芦屋市生まれ  
1993年 京都大学大学院建築学専攻修士課程修了  
1994年 AA School London  
2000年 河井事務所設立  
主な作品・受賞歴に、  
四条木製ビル 京都 (2008)  
平安座島のロングハウス 沖縄  
(2006年 第6回環境・設備デザイン最優秀賞)  
ほか多数



平沼孝啓 //Kohki Hiranuma  
Hs Workshop-Asia 主宰  
1971年 大阪府生まれ  
1995年 大阪工業大学卒業  
1997年 AA School London  
ディプロマ在籍のため渡英  
1999年 Hs Workshop-Asia  
(建築デザイン研究所 / ヒーズワーク  
ショップ-アジア) 設立  
主な作品・受賞歴に、SOYA  
(2004年 JCDデザイン賞準大賞)  
群馬オープンスペースアートコンペティション優秀賞 (2004)  
ほか多数

2008年12月20日 二周年記念シンポジウム